



2016・3・21

第233号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「5党合意もとに参院選で共闘を」の声さらに

明文改憲の動きに事務局学習会

安倍首相が参院選に向けて明文改憲の発言を繰り返していることにたいし、九条の会事務局は明文改憲と立憲主義をテーマとした学習会を開くことを決めました。

◇日時 5月27日 18時30分～

◇会場 東京・文京区 文京区民センター

◇講師 山内敏弘（一橋大学名誉教授）

渡辺治（一橋大学名誉教授）

戦争法施行を10日後に控え行動

【福岡県／九条の会福岡県連絡会】 戦争法施行を10日後にひかえた3月19日、全国各地で同法の廃止を求める集会やパレードがおこなわれました。福岡では、九条の会福岡県連絡会主催と県弁護士会主催の2つの戦争法廃止市民集会が開かれ、それぞれの集会参加者が合流して約700人が市内をパレードし、「戦争法廃止を」との声を上げました。

九条の会の集会では、戦争法廃止の5野党党首の合意について報告され、各界の代表が決意を表明しました。

弁護士会集会には、仁比聡平参院議員と民主党、共産党、社民党の参院選福岡選挙

アンケート締め切りは4月末日

九条の会事務局がよびかけた九条の取り組みに関するアンケートにはつきつきと回答が寄せられています。ありがとうございます。

ただ、事務局がファックス等を掌握し、直接協力をよびかけた地域の会はきわめて限られていることから、今後さまざまなルートをつうじて呼びかけを広げていくため、一定の時間を必要としますので全体の締め切りは4月末日とさせていただきます。もちろん、締め切り以前に回答をよせていただくことは大いに歓迎します。

なお、分析結果は公表します。

区予定候補らがともに行進しました。

パレードに参加した市内の事務職の女性（34）は「私のようなふつうの人間が一人でも参加することで危機感をもっていない人が何か感じてくれればと参加した。参院選では、今まで通り自公に投票させてはいけない」と語りました。

野党共闘訴えパレード

【東京都渋谷区／渋谷・9条の会など】「戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める渋谷市民迎合」は3月16日夕、東京都渋谷区の宮下公園内で、集会とパレードを行い、約200人が参加しました。

渋谷・9条の会事務局長の須藤正樹弁護士が「5野党合意ができて安倍内閣は追い詰められている。野党は共闘して選挙で勝ち、立憲主義を回復して憲法9条を守ろう」と呼びかけました。

安保関連法に反対するママの会の女性は「子どもと命、幸せを奪うものにははっきりとノーを突きつけたい」と話しました。

参加した加藤恵子さん（53）は「安倍首相は解釈改憲だけではなく、実際に明文改憲も言い出した。なんとしても止めたい」と話し、デモに初参加した娘の美杏香（びあんか）さん（22）は「安保法で自衛隊が海外で戦争する可能性が高まり、人ごとではないと思った」と語りました。

2000万署名成功へ講演会

【静岡県清水区】清水区で3月6日、戦争法廃止の2000万署名を推進しようと、憲法講演会を開き、150人が参加しました。呼びかけ人には、元清水商工会議所会頭、富士ロジテック役員、元大学教授、住職、社会福祉法人理事長、元自治会長など多様な分野の人々と、党派を超えた現職・元職の県議・市議の37人が名を連ねています。

講演会では呼びかけ人の白井孝一（県弁護士9条の会共同代表）、内田池（民主党系元市議）、石垣鈴江（清水女性9条の会）、

皆でこつこつ訪問し1000筆突破

福島・柳津町国保診療所長 平上博資

私は金山・三島・柳津三町の九条守る会の活動として、休日には町内の全戸を回って署名をお願いしています。会員のHさんも牛乳配達しながら、大奮闘してくれています。大抵の方々が私たちの願いを聞いて、快く署名して下さいます。大正生まれのある方は「今はかつての戦争始まる前に似て来た。気持ち悪くざわざわする」と言われました。あるところでは、剪定中の木の上で署名板を取り上げて、家族の名前3人も書くいただきました。暫くぶりに寝たきりの患者さんに会い握手を交わしたり、あるお家ゆかりのお菓子を頂いたり、署名で歩くのが楽しくなりました。あちこちの集落を訪ねて、空家の多いこと、お年寄りが一人でいたり、これが限界集落なのか。「田園まさに荒れなんとす」という言葉がありました。その言葉以上の現実があります。「こんな農村に誰がした」といいなくなります。「地方創生」など空々しい。憲法を無視しやたらと軍事的対応しか考えない今の政治、国民の生活の向上に目を向けない政治が、こうした私たちの農村のきびしい状況を生み出してきたと思います。

私たち九条の会の署名は、多くの方々の10筆、20筆と協力いただいたものを含め、現在、柳津で1000筆に届きました。戦争法廃止の多くの国民の声に動かされ、野党の協力関係も出来ました。子や孫たちを戦争に行かせぬために、私は歩き続けます。（「福島県九条の会 Mail News」No61から）

松島恵定（禅祠寺住職）、花井征二（共産党元県議）の各氏があいさつしました。

白井氏は「自民党は改憲で人間が生まれながらにもっている基本的人権も制限しようとしている」。内田氏は「私は戦争で家は焼かれ、食べ物もない体験した。戦争で一番被害をうけるのは子どもたち。子どもたちを守るのはおとなの責任」と述べました。

講演した五十嵐仁法政大学元教授は、「参院選で5野党合意が実現し、安倍政治を許すのか許さないのか、対立軸が明確になった」と訴えました。

参加した前田和子さん（70）は「署名をきっかけとして対話し、相手に考え方を変わってもらおうという話がすごく心にのこった。積極的にいろんな人に呼びかけないといけないですね」と語りました。

戦争法廃止宣伝に広がる反響

【青森県／青森県九条の会】 「戦争法廃止を求める2000万県名」を訴える宣伝が15日、青森市でおこなわれました。

県九条の会や憲法ネット青森などから20人参加し、マイクを握り、「戦争させない、憲法守れの署名です」とよひかけました。

署名した83歳の男性は「憲法9条があったから戦後日本は復興した。世界に9条を発信し平和を説く役割を果たしてほしい」と話しました。

8歳の子どものもつ母親（30代）は「戦争に送りだすために子どもを育てているではありません。誰だってそうでしょ」と話しました。

訴えに足を止めて聞き入る人、ビラを見て署名する人、「頑張ろう」と参加者と握手

を交わす人もいました。

【千葉県船橋市／たかね台9条を守る会】

2月19日の駅頭行動は、12人の参加者で元気に安保法制廃止を訴えました。

「寒いのにご苦労さま」「頑張ってください」といった励ましがある一方、「太平洋戦争はアジアの国々の開発を促した」と言う戦争体験者の方に「それは後付の知恵でしょう」と話して別れたが、買い物帰りに握手してくれたというエピソードや、「署名やって効果あるの？」と言う露天商の方には、住宅問題における署名の効果を話したら署名に応じてくれたなど、今月も多様な意見を聞くことができました。

今月の行動では、24筆の署名をいただき累計359筆になりました。（「ふなばし憲法九条の会ニュース」NO108）

【東京都足立区／9条の会足立連絡会】

1月25日の第1回団地作戦は参加者が4人と少なかったのですが、玄関まで出てきてくれて対話できた方からはほとんど署名がいただけました。1時間弱で14筆の署名をお願いできました。

2月度の事務局会では、「今日は一人で行動して、9筆の署名を集めた。『関係ない。』『戦争は起きない』などと言う人が多い」「若い人への宣伝を工夫する必要がある。SNSを活用したり、生協や労組などとの情報交換も必要。」「点として存在している人達と、どうやってつながり合うか?」「地域の9条の会があるところと連携して、地域の会を盛り立てていく必要がある」などの意見が出されました。（「9条の会足立連絡会事務局ニュース」13号）